



▲あさひサンライズホールの吹き抜け構造のロビー



▲朝日図書室

武電機（士別市）。ほかに市内の電気工事会社ら4社が協力したことで、地域において経済の循環が図られた。市の積算によると、年間電気料金の削減見込みは約

5000万円。年間リース料は約2400万円であるため、差し引きメリットは年間約2600万円となる。投資回収は4.7年。

加えて、約950トンの二酸化炭素を削減し、「地球環境の保全」にもつながる。あかりみらいも市とほぼ同様のシミュレーション試算をしているこ

今年9月の市長選への4選不出馬を表明した牧野勇司市別市長は、在任した3期12年で「子育て日本一のみち」をスローガンにさまざまな施策に実績と足跡を残してきた。文化・体育施設や小中学校

校等の公共施設のLED化もその一つだ。電気料金の削減など経済的な費用対効果が期待できる施設から先行して実施し、2020年度は27施設で完了、21年度も18施設で行う。牧野市長は「経済的な効果は確実に表れていきます。『明るくなった』と文化施設等を利用する市民からも喜ばれている」と話す。

二酸化炭素を削減 環境保全にも貢献
20年度に実施した27施設は10年間のリース契約で、契約総額は2億3905万9920円。公募型プロポーザル方式で事業者を選定し、コンサルはあかりみらい、リースは三井住友ファイナンス&リース（東京都）、製造販売はアイリスオーヤマ（仙台市）、工事は宮



▶生涯学習情報センターいぶきのロビー、市民ギャラリーも明るくなり、絵画鑑賞がより快適になった



▲「士別 inn 翠月」は実業団や大学駅伝チームの合宿先として名高い

リース活用のため 新規予算計上不要
自治体の公共施設の照明を、消費電力が少なく、寿命が長いLEDに切り替える動きが加速する中、LED化のコンサルティンクに抜群の実績を持つあかりみらいは全道の自治体に積極的に提案を続

2020年度 士別市は27施設で完了 メリット年間2600万円

あかりみらいが自治体公共施設のLED化コンサルで全道一の実績



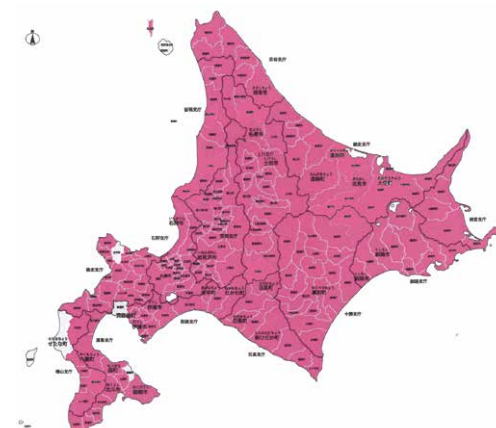
▲森に囲まれた「士別 inn 翠月」

別紙 (施設名・賃貸借料明細) (単位: 円)

No.	施設名	月額賃貸借料 (検収翌月から120回)		税込総額
		税抜価格	消費税	
1	朝日支所庁舎	67,930	6,793	8,966,760
2	あいのみ保育園	24,620	2,462	3,249,840
3	北星保育園	29,790	2,979	3,932,280
4	保健福祉センター ・成人病健診センター	56,540	5,654	7,463,280
5	高齢者生活福祉センター ・在宅介護支援センター	30,570	3,057	4,035,240
6	清掃車両ステーション	31,650	3,165	4,177,800
7	農畜産物処理加工施設	37,290	3,729	4,922,280
8	世界のめん羊館・めん羊工芸館	26,210	2,621	3,459,720
9	スポーツ合宿センター (翠月)	83,410	8,341	11,010,120
10	サイクリングターミナル	26,290	2,629	3,470,280
11	日向保養センター (日向温泉)	17,200	1,720	2,270,400
12	朝日地域交流センター (和が舎)	11,220	1,122	1,481,040
13	朝日山村研修施設	32,220	3,222	4,253,040
14	市民文化センター	93,960	9,396	12,402,720
15	あさひサンライズホール	148,040	14,804	19,541,280
16	生涯学習情報センター	140,410	14,041	18,534,120
17	博物館・公会堂展示館	21,940	2,194	2,896,080
18	学校給食センター	42,030	4,203	5,547,960
19	士別小学校	121,920	12,192	16,093,440
20	士別南小学校	99,910	9,991	13,188,120
21	多寄小学校	117,150	11,715	15,463,800
22	温根別小学校	35,490	3,549	4,684,680
23	糸魚小学校	137,420	13,742	18,139,440
24	士別中学校	110,730	11,073	14,616,360
25	士別南中学校	122,870	12,287	16,218,840
26	総合体育館	79,210	7,921	10,455,720
27	勤労者センター	65,040	6,504	8,585,280
合計		1,811,060	181,106	239,059,920

▲2020年度に士別市がLED化を導入した施設と月額リース料

短歌など文字を書いて読み合う方々から『明るくなったね』と好評です』
(千葉真奈美館長)
あかりみらいの越智社長は北海道電力で危機管理室長等を歴任した電気と危機管理のプロ。同社は自治体すべての施設のLED化を無料で試算・見積もりしており、すでに道内市町村の約9割に提案し、20以上の市町村の工事を終了している。
4月に公募型プロポーザル方式で落札した石狩市では全147施設のLED化工事が始まり、21年度も多くの自治体からのメリストを享受すること



試算と見積もりは実になる。
「普通は1カ所の施設だけでなく、現地を確認して、天井裏を見て...と時間を要するのですが、当社は100を超える施設でも短時間で一度に見積もりできるプログラムとノウハウがあります。省エネ電力量、回収年数、二酸化炭素削減量、長期リース設計などを一括して行うので、喜ばれています」
(越智社長)

が、その調整もスムーズに行えます。利便性は大いに高まりましたね」
スピーディーな試算9割の市町村に提案
市民の創作活動などで年間延べ約9万人が利用する市民文化センターも、「高齢者の利用が多く、美術や書道のほか、楽譜を読むコーラス、俳句や

とから、ほぼ確実に見込める数値といえそう。国を挙げて進めるLED化の利点は、こうした環境・経済面だけではなく、公共施設であるがゆえに、利用者や学校で学ぶ児童や生徒のための証明改修だが、一様に「明るくなった」「快適」と喜びの声が上がっている。別表に記した、27施設

雪氷冷熱活用プロジェクト 「希望の桜」で五輪マラソン応援

北海道雪氷プロジェクト実行委員会(実行委員長・越智文雄あかりみらい社長)は「北海道雪氷プロジェクト202

1」で、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催応援を目指している。雪氷エネルギーを活用した「希望の桜」

で世界のアスリートを迎えようという考えだ。



▲農業用コンテナを用いて長さ1mに剪定した桜の枝を埋雪した。(右下は横山茂沼田町長)



同委員会は、18年に北海道150年を記念して市民活動として発足した。19年には猛暑の銀座で雪柱と桜の展示実験を行い、昨夏は道内30以上の自治体の協力を得て、札幌駅とさっぽろテレビ塔、新千歳空港で約3000本の展示を行った。
今年「3年越しの夢」を実現しようと、3月に始動した。桜の名所である松前町や新ひだか町をはじめ道内32自治体と北海道神宮から集まったおよそ3300本のつぼみのついた桜の枝を「希望の桜」と名付けて3月26



▲北海道神宮で子どもたちが桜の剪定を行った

「オリンピックの開催に向け、聖火リレーが始まっています。感染対策の厳戒態勢はとられているものの、基本的には沿道の応援で、明るいムードを醸し出しています。私も実行委員会も札幌での競技の観客ありでの実



▲昨夏、札幌駅南口地下街「アピア」に展示された桜の枝

現を祈っています。
応援は札幌市の指導に基づいて行いますが、例えば1000人の子どもたちに1日間隔で整列してもらい、桜の小枝を振る。そうすることで子どもたちも一生の記憶としてオリンピックを体験できるのです」
また、美唄市に埋めた直径1mの雪柱も、競技の開催期間中に展示される予定。マラソンのゴール付近の市役所近辺などが候補に挙がっている。